科目名	音楽Ⅱ	履修学年	第２学年
		履修形態	必修
		履修単位	２単位
使用教科書（出版社）	高校音楽Ⅱ　改訂版　「Music View」（教育出版）		
使用教材（出版社）	なし		

学習の目標

音楽Ⅱでは、音楽Ⅰで学習した内容･経験を基礎としてそれらを発展させ、音楽の諸活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。主な学習内容は（１）歌唱･器楽･創作などの表現力の伸長に関わるもの、（２）文化的背景に基づく西洋音楽や日本の伝統音楽･音楽史、また、音楽理論も学び音楽の喜びを味わう。

教科担当者から

音楽Ⅱは１年次の音楽Ⅰを発展させた授業内容です。１年生の時と同様、実技（ﾘｺｰﾀﾞｰや歌唱等）が苦手でも、テストだけではなく、それまでの過程（一生懸命やったか）も評価していきます。また、テストは実技だけではなく筆記も実施するので挽回は可能です。集中して頑張っていきましょう。

評価の観点・方法・割合

観点	関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力	
規準	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	
方法	※　◎は観点の中でより重視するところです。				
学習の行動観察	◎	○	○	○	
活動の成果	○	◎	○		
提出物	○	○	○	◎	
実技テスト		○	◎		
割合	20%	25%	35%	20%	

評価の基準　※ 満点を100点としたとき

5	4	3	2	1
８５点程度以上	６８～８４点程度	４８～６７点程度	３０～４７程度	３０点程度未満

学習内容

学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点 関	創	技	鑑		時間
	4、5	歌唱Ⅰ 〇365日の紙飛行機 〇糸 〇豊かな歌声のための エクササイズ	・音楽Ⅱの学習目標や一年間の学習計画を確認する。 ・なじみのあるJ-POPの歌を，歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら歌う。	〇	〇	〇			7
	5、6	リズミック・パフォーマンス	・音楽を形づくっている要素のうちリズムに着目し、ほかの要素（音色，テクスチュア，強弱など）との関わり合いによって生み出される響きや音楽の表情の変化を理解して、楽しみながら音楽表現を工夫する。 ・発表し、互いに批評し合う。	〇	〇	〇			12
		楽典Ⅰ（音名、コード）	・世界で使われている音名を学び、コード名との関わりを理解する。またコードの仕組みを学習し、楽曲上で応用する。	〇		〇			6
	7	歌唱Ⅱ（合唱）	・合唱活動に関心をもち、伴奏と合唱とが組み合わさった楽曲の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、表現を工夫してクラス合唱をする。	〇	〇	〇			6
	8、9	鑑賞Ⅰ 世界のいろいろな楽器	・日本及び世界の民謡、郷土の音楽の旋律や、楽器の音色の特徴、それらの楽曲の文化的、歴史的背景に関心をもち、音楽に対する理解を深める。	〇	〇		〇		9
後期	10、11	器楽Ⅰ（リコーダー・ギターアンサンブル）	・ギターの歴史に触れ、奏法を確認しながら音の響きの美しさ、特徴を理解する。 ・リコーダーと組み合わせ、表現を工夫しながら器楽アンサンブルを行う。 ・発表し、お互いに批評し合う。	〇	〇	〇			10
	11、12	歌唱Ⅲ　諸外国の芸術歌曲を味わう 〇野ばら	・ドイツ語の特性を味わい、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりを理解しながら個性豊かに歌う。 ・互いの意見を交流し合い、根拠を持って表現の工夫を行う。 ・発表し、お互いに批評し合う。	〇	〇	〇	〇		8
	1.2.3	創作　オルゴール製作 歌唱Ⅳ 〇校歌 〇国歌 〇卒業式式歌	・音楽Ⅰから現在まで学んできた楽典をｵﾙｺﾞｰﾙを活用しながら楽曲を編曲し、音楽を表現する喜びを味わう。 ・本校生徒であることの自覚と誇りを持ち愛着を深める。 ・卒業生に感謝の気持ちを込めて歌う。	〇 〇	 〇	〇 〇			12
									70